

☆将来都市像実現のための基本目標

将来都市像を実現するために、次の5つの基本目標に基づき施策に取り組んでいきます。

基本目標1 連携強化による一体的発展

環日本海定期貨客船の就航や港湾整備など、境港と米子鬼太郎空港を核とする「北東アジアをはじめとした諸外国へのゲートウェイ（玄関口）」への取り組みを進めるとともに、将来の道州制も見据え、中海市長会を中心とした圏域連携事業など、地域特性を活かした周辺自治体等との連携強化による地域の一体的発展をめざします。



基本目標2 全国ブランドである「さかな」と「鬼太郎」を活かした経済振興

全国的な観光地へと成長した水木しげるロードを核とした本市の観光戦略を進めるとともに、水揚げ日本一のカニや生マグロなど、「さかなと鬼太郎のまち境港」のブランド力を更に高め、観光と水産の相乗効果により地域経済の振興を促進します。



基本目標3 一人ひとりを大切にした教育と福祉の充実

次代を担う子どもたちの安全・安心を確保するため、境二中の建替えをはじめ、小中学校の耐震補強等を早急に実施して教育環境を整えとともに、生涯学習を進め心豊かな人と文化を育成します。また、子育て支援に引き続き積極的に取り組み、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるほか、高齢者や障がいのある方などを市民みんなで支え合いながら、健康で安心して暮らせるまちをめざします。



基本目標4 安心で住みよい生活基盤の充実

夕日ヶ丘の環境整備を中心とした定住促進に努めつつ、米子空港整備関連事業の促進、公共下水道をはじめとする快適な生活環境の整備、さらには防災体制の整備等を進め、安心で住みよい生活基盤の充実をめざします。



基本目標5 市民との連携による誠実な行政運営

行政情報を市民に分かりやすく積極的に提供しながら、市政への市民参画を進め、市民に開かれた行政を推進するとともに、行政運営の仕組みを点検、見直ししながら、市民活動団体等との協働を進めていきます。

また、「自立・持続可能な財政基盤の確立」と「市民サービスの維持向上」の両立に向けて、行財政改革に引き続き取り組むとともに、真に必要とされる市民ニーズや地域課題を的確に把握し、限られた経営資源を重点的、効果的に配分するなど、境港市の将来の発展につながるよう、施策の選択と集中化を図っていきます。



「境港市まちづくり総合プラン（第8次境港市総合計画）」の全文については、市のホームページに掲載しています。

【問合せ先】 地域振興課企画係（Tel：47-1024）

電子メール chikishinkou@city.sakaiminato.lg.jp

将来都市像 「環日本海オアシス都市」を目指して

境港市まちづくり総合プラン（第8次境港市総合計画）を策定しました

本市の特性を活かしながら、これからのまちづくりや概ね5年間で取り組むべき施策を一定の重点項目に絞り込み、市政運営の大きな方向性を定めるため「境港市まちづくり総合プラン（第8次境港市総合計画）」を策定しました。

2つのまちづくりの基本理念のもと、将来都市像の実現に向けて5つの基本目標と具体的施策に取り組んでいきます。

◎まちづくりの基本理念

○魅力と活気あふれるまちづくり

港湾、空港、漁港の社会基盤や水産資源、観光資源を活かし、市民の知恵や力を結集して産業振興や観光振興を図り、にぎわいのある活気あふれるまちづくりを進めます。

○心豊かに、安心して暮らせるまちづくり

福祉、教育環境の向上に努め、市民の誰もが、心豊かに、安全で、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

◎将来都市像

環日本海オアシス都市

港湾や空港などの社会基盤や資源を活かしたまちづくりに加え、市民の暮らしに根ざした基本的な施策を推進することにより、誰もが、快適で、心豊かに、そして「安全で、安心して暮らせるまち」、すなわち、文化的で質の高い暮らしができる独自の魅力を持ち合わせることで、人やものが寄り集まり、砂漠の中の「オアシス」のような活気あふれるまちをめざし、そのイメージとして「環日本海オアシス都市」を標榜します。

☆境港市まちづくり総合プランの体系イメージ図

○魅力と活気あふれるまちづくり
○心豊かに、安心して暮らせるまちづくり

まちづくりの
基本理念

【将来都市像】

環日本海オアシス都市

基本目標

- 1 連携強化による一体的発展
- 2 全国ブランドである「さかな」と「鬼太郎」を活かした経済振興
- 3 一人ひとりを大切にした教育と福祉の充実
- 4 安心で住みよい生活基盤の充実
- 5 市民との連携による誠実な行政運営

